

研究に関するお知らせ

「日本におけるノカルジア症の臨床的疫学と感受性に関する後方視的研究」

国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センターでは、東京都立多摩総合医療センターと共同で、以下に説明する研究を行います。この研究への参加を希望されない場合には、不参加とさせていただきますので、下記の問い合わせ先にお申し出ください。お申し出になられても、以後の診療においていかなる不利益も受けることはありませんのでご安心ください。

■研究目的・方法

ノカルジアは土壌中などに存在する細菌で、細胞性免疫不全状態において重篤な日和見感染を引き起こします。日本ではノカルジア症の症例数は多くなく、菌種同定と感受性検査を一般医療機関で行うことは困難で、検体を専門機関に送付して検査が行われます。今回の研究は、日本の代表的なノカルジア検査機関である千葉大学真菌医学研究センターで2010年から2017年の間に同定されたノカルジア症の臨床的特徴と薬剤感受性(抗菌薬の有効性)を明らかにするために計画されました。

■研究の対象となる方

2010年から2017年の間に当センターで検体採取が行われ、千葉大学真菌医学研究センターでの検査によりノカルジア症と診断された方
(18歳以上の方を対象とした研究ですが、当センターでは20歳以上の方のみが対象となります)

■ご協力頂く内容

対象となった方の臨床情報(年齢・性別・人種・既往歴・併用薬・臨床症状・所見・治療薬・副作用・予後)を診療録より収集し、研究に利用させていただきます。研究は2022年12月31日まで継続される予定ですが、データ収集が行われるのは1回のみです。本研究参加に伴う新たな負担はありません。

■外部への試料・情報の提供

当施設で集計した情報は、個人を特定できる情報を含まない形で、主施設(東京都立多摩総合医療センター)に送付します。

■個人情報の開示に係る手続きについて

本研究で収集させて頂いたご自身の情報を、当院の規定に沿った形でご覧いただくこともできます。ご希望される方は、記載の問い合わせ先にお申し出下さい。

■研究計画書等の入手・閲覧方法

あなたのご希望により、この研究に参加して下さった方々の個人情報の保護に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。ご希望される方は、記載の問い合わせ先にお申し出下さい。

■利益相反について

本研究に関する利益相反はありません。

■研究組織

(当院の研究責任者)エイズ治療・研究開発センター 専門外来医長 塚田 訓久
(本研究全体の研究責任者)東京都立多摩総合医療センター 感染症科 本田 仁

■問い合わせ先

国立国際医療研究センター病院 エイズ治療・研究開発センター外来
担当者:塚田 訓久 電話番号 03-3202-7181(平日9-17時)